

【重要】議事録送付の「案内」。受信メール一覧を開くと新着メールが届いている。差出人は「田中」。何の気なく添付ファイルのクリップマークをクリックすると、画面に「イエローカード」が大きく表示された。「不審メールへの不適切な操作です!!」

「被害」3分の1

建設業大手の五洋建設は7月下旬、本社や関連会社の社員を対象に、ウイルス付きメールによる「標的型攻撃」の訓練を実施。対象者約3300人のうち約1100人、3人に1人が不用意に添付ファイルを開き、「感染」してしまった。

公共インフラの設計図や施主の情報を守ろうと10年前から情報セキュリティの社内研修を続けてきただけに、担当者は「もう少し良い結果だと思っていた」と顔をしかめる。

訓練を請け負ったセキュリティ会社「グローバルセキュリティエクスバルセキユリテイエクス

何気なく開封…感染

ネット社会

リスクを知る

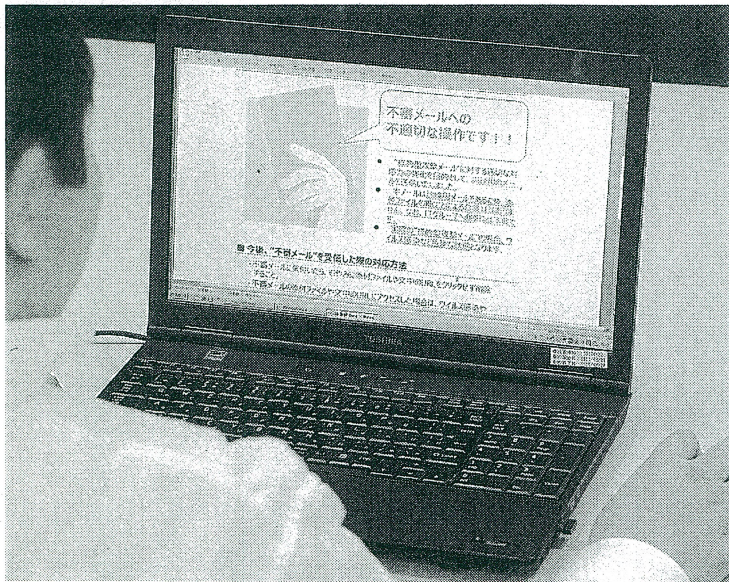
パート（東京・港）の出人や件名に心当たりが青柳史郎・事業開発部長。ない②仕事関係なのに無は「半数以上が開いてし料メールサービスを使っまっ企業もある」と説明。ている③「重要」「至急」注意すべき点として①差とやたら強調している―

増す巧妙さ 誰もが標的

「などを挙げる。」「危険なサイト、不審トでファイルを開く」「ドしない」と答えたパカってしまっ」と話す。ソコン利用者は46・2%いる人、何に注意すればにとどまった。ウイルスよいか分かっていない対策に不可欠な基本ソフト(OS)の修正プログラムを更新している利用も45・4%で半数を下回った。

と、「よく知らないサイば不自然なのに、知人が困っていると思ひ引つかかかってしまっ」と話す。問い合わせなどのメールをやりとりした後でウイルスを任込んだメールを送りつける。正規のサイトを改ざんし、ウイルスに感染させる。ネット利用者を欺く手口は巧妙さを増している。

ウイルス 足りぬ警戒



五洋建設の訓練で使用した添付資料（東京都文京区）

「コンビニでプライベートカードを買うのを手伝ってもらえますか」「カードの番号の写真を送って下さい」。無料通話チャット・アプリ「LINE」のアカウントを乗っ取り、周辺の人にメッセージを送って購入させた電子マネーをだまし取る事件が、5月ごろから相次いでいる。

◇ 家庭で、仕事で、インターネットは社会生活に広く深く浸透しているが、便利さの裏に潜むリスクは忘れられがちだ。犯罪やトラブルを避けるために求められるネット利用の心得を探る。

（関連記事を電子版にWeb刊↓紙面連動）